

## 議案第1号

# 公益社団法人南城市シルバー人材センター 令和3年度事業報告

### I. 概要

令和3年度は新型コロナウイルスのワクチン接種が進んでいるにもかかわらず新規感染者数は増減を繰り返しており、今なお当センターの就業に影響を及ぼしている状況である。また、これまで本センターが受託していた南城市からの公園施設及び社会体育施設の委託業務が指定管理へ移行されたことによりそれに伴う契約額の減少があった。

このような中で、当センターは、第4次中長期事業計画の初年度に当たり、目標達成へ向けて、会員・役職員が一体となって事業推進に取り組んできた結果、前年度に比べ契約額を増加することができた。

会員については会費の未納者及び長期の就業のない会員の退会により73人の大幅な減となったが、就業率においては10ポイントの増となった。

独自事業のグリーンエコリサイクルセンター事業については大型機械等の経年劣化による故障等もあり、厳しい状況もあったが、創意工夫により、ほぼ前年どおりの実績となった。ヘナ・インディゴ栽培事業については雑草処理の経費等の比重が大きく効果的な肥培管理の在り方について、課題を残す結果となった。

社会参加活動として取り組んだボランティア活動は31人の減ではあったが、シルバー事業の普及啓発に大きく繋がった。

令和3年度の事業状況の概要は次のとおり。

項目	3年度	2年度	増減
会員数	232人	305人	△73人
契約金額	98,994,313円	92,258,702円	6,735,611円
就業率	63.8%	53.8%	10%
就業延人員	15,860人日	15,817人日	43人日
配分金	70,519,696円	67,283,018円	3,236,678円
ボランティア数	187人日	218人日	△31人日
派遣事業延人日	1,217人日	1,294人日	△77人日

人口 45,530人 60歳以上 14,771人 (32.4%) 令和4年3月末日

## II. 事業実施報告

### (1) 雇用によらない臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業機会の提供

#### ① 受託事業

高齢者の生きがいの充実と福祉の増進を図るとともに、活力ある地域社会づくりに寄与するため、高齢者に相応しい地域に密着した仕事を家庭、民間事業者、官公庁等から有償で引き受け、高齢者の能力、希望に応じて請負又は委任により、除草や屋内外の清掃、大作業、福祉・家事援助サービス、農作業、デマンドバスオペレーター業務、ごみ回収等の就業を提供した。

＜実績＞ 就業延人日 14,574 人日 ・ 受注件数 447 件

#### ② 独自事業

高齢者の就業機会を拓げるため、高齢者独自の創意と工夫によるグリーンエコリサイクル事業と並行して染料の原料（ヘナ栽培）を行った。

＜実績＞ 就業延人日 1,286 人日

### (2) 雇用による臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業機会の提供

#### ① 有料の職業紹介事業

雇用による臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業を希望する高齢者に対し、有料の職業紹介事業を行った。

＜実績＞ 件数 0 件

#### ② 一般労働者派遣事業（シルバー派遣事業）

派遣による雇用就業を希望する高齢者に対し、臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業の範囲で一般労働者派遣事業を行った。

＜実績＞ 件数 8 件 ・ 就業延人日 1,217 人日 ・ 契約額 6,046 千円

### (3) 臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業に必要な知識及び技能を付与するための講習会については新型コロナウイルス感染症の影響により開催することができなかった。

### (4) 上記(1)～(3)の事業を推進するための諸活動及びその他の社会参加活動を推進するための諸活動

#### ① 普及啓発

シルバー事業の信頼と理解が得られるよう、市民、事業所、官公庁に対し、事業の意義と基本的な理念及び仕組み等を周知すると共に、高齢者自身に対する意識啓発を行った。

＜具体的取り組み＞

ア 多様な知識・資格・能力を持つ高齢者への事業参加の呼びかけ

名刺カードを作成し、会員一人ひとりが地域の高齢者に配布し、事業への参加を呼びかけた。

イ シルバー広報紙「くがに」を3回発行

シルバー広報紙「くがに」を3回発行し、シルバー事業の意義や理念を周知するとともに、会員の声や就業状況、ボランティア活動等を紹介し、高齢者の意識啓発につなげた。

ウ 普及啓発促進月間（10月）の推進

南城市役所1階ロビーに設置されている電子掲示板を利用してシルバー人材センターの情報を発信した。また、南城市役所に隣接する公共駐車場の清掃ボランティア活動を行い、シルバー事業の普及啓発につなげた。

・ボランティア参加数 46名

エ マスメディアへの活動情報の提供

ボランティア活動等の状況を市の広報担当に情報提供した。

オ ホームページを利用した情報提供

ホームページを利用し、シルバー事業の内容や活動情報を提供した。

カ その他、必要な事項（チラシ、パンフレットの配布等）

市民、事業所、官公庁等に対し、チラシ、パンフレット等を配布し、シルバー事業の理念を周知した。

② 安全・適正就業の推進

センターから提供した仕事を安全かつ適正に遂行できるよう、高齢者の安全意識の高揚と啓発活動を行った。

ア 安全・適正就業推進委員会の開催。（未実施）

イ 安全・適正就業推進員の配置と安全パトロールの実施

・安全・適正就業推進委員会による巡回指導。（12回）

ウ 安全・適正就業強化月間（7月）の設置と大会の開催

・安全・適正就業推進大会 2回開催

（7月29日 38名参加）（1月4日 53人参加）

エ 「適正な運営のための受注基準」に基づく受注の徹底

就業の受注においては、受注基準を順守し、適正な運営に努めた。

オ その他、必要な事項（安全・適正就業に関する朝礼での情報提供等）

当センターで発生した事故の状況及び県連合から提供された、県内全センターの事故発生情報を朝礼で報告し、再発防止に努めた。

③ 調査研究

時代の要請に対応した事業展開を図るため、高齢者の就業に対する意識と就業実態に関する調査やシルバー事業への評価等の調査を行った。

ア シルバー事業に対する一般高齢者や会員の意識調査の実施

新規入会者を対象にシルバー事業に対する意識調査を行った。

- ・新規入会者 23 人
- イ 一般家庭、民間事業者、官公庁等の意識調査の実施  
発注者を対象にシルバー事業に対する意識調査を実施した。

- ・発注者 10 件

④ 就業分野の開拓・拡大等

高齢者に相応しい仕事を積極的に開拓するとともに、職業能力や経験を把握分析し、地域ニーズに対応する仕事の提案を行った。

ア 会員・職員の事業所等への開拓訪問の実施

- ・訪問件数 10 件

イ 就業機会開拓員の配置と就業開拓の推進

- ・新規開拓 82 件

ウ 会員の知識・資格等を活用した独自事業や新たな就業分野の検討

汚泥発酵堆肥づくり（15k・5k）や、白髪染めのヘナ、インディゴ栽培により会員の就業拡大に繋がった。

⑤ 相談・情報提供

入会を希望する高齢者に対し、入会説明会を実施し、高齢者からの相談、または、地域における働く高齢者のワンストップサービスセンターとして、相談、情報提供を行った。

ア 市内在住高齢者に対して入会説明会の開催

- ・年間 11 回開催 37 人参加 23 人入会

イ 高齢者への相談対応

入会説明会に併せて相談対応を行った。 37 人参加

ウ 南城市生涯現役促進協議会と連携した事業説明会の開催

南城市雇用促進協議会との連携で南城市役所において、事業説明会を開催し、情報提供を行った。

① 6 月度 5 人 ② 12 月度 10 人 <合計 15 人参加>

⑥ 社会参加活動の推進

ボランティアによる社会参加を希望する高齢者に対し、市民、事業所、官公庁と連携してボランティア活動を推進した。

- ・地域と連携したボランティア活動

- 海岸清掃ボランティア。 46 人

- ・その他ボランティア活動 141 人

合計 延 187 人参加

(5) 運営体制

① 理事会活動の強化

センター運営体制の充実強化を図るため、次のとおり取り組んだ。

会議の開催

- ・定時総会（5 月 28 日）
- ・理事会 11 回
- ・三役会議 12 回

- ② 会員組織の強化
  - ・ 地域班長会議 1回 ・ 職群班会議 2回
- ③ 事務局体制
  - ・ 職員会議 6回
- ④ その他必要な会議の開催
  - ・ 連合主催事務局長会議及び職員研修
- ⑤ 関係行政機関及び各種団体との連携
  - 南城市いきがい推進との事業調整会議 5回
  - 南城市田園整備課との事業調整会議 1回
  - 南城市観光商工課との事業調整会議 2回
  - 南城市教育施設課との事業調整会議 1回